

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月26日

事業所名 どんぐり

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・広いスペースを利用してグループ活動にも重点を置いた指導を心掛けている。また、広くて刺激が多く入ってしまう場合は、衝立等を利用して狭い空間も作ります。	定員10名の設置基準は指導訓練室 24.7 m ² 遊戯室 16.5 m ² どんぐりは 1階の訓練室 62.1 m ² 2階の遊戯室 60.86 m ² を確保している
	②	職員の配置数は適切である	5	0	・定員10名の場合、職員配置は2名となるが、加配加算を取得し職員を4名配置している	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	・余暇エリアと仕事エリアを仕切りで分け、わかりやすい環境を作っている。	・更に構造化できるところは行っていきたい
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・生活空間の清掃はもちろん、玩具など手に触れるものは消毒や除菌を毎日行っている。感染防止のため今年度はより丁寧な除菌を行っています。	・より有効な清掃道具等があれば導入する
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0	・業務改善のための話し合いを毎日している	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・前回のご意見で「見学をしたい」との要望がありましたがコロナ禍でなかなか見学も難しい状況だったのでインスタを始め、活動の様子などを発信できるようにしました	・今後もアンケートを継続し、ご意見・ご要望にお応えできるようにしていく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	・自己評価とその評価をご家族に配布し、資料を玄関に設置している	・法人ホームページにも公開できるようにしたい
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		・関係者の意見を重視するため予定なし
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・専門家の先生（スーパーバイザー）から助言を頂いている。	・今年は研修等に行けなかったため、次年度は参加していく。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・Ｔクラックを実施し、それを基に児童発達支援計画を立てている	・更に具体的な児童発達支援計画を立てている
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・Ｔクラックを実施	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・目標行動一覧を作成し、今必要な支援を職員全体で検討し児童発達支援計画を作成している	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・毎日、翌日の活動に関して話し合いを行っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・毎日、翌日の活動を検討し新しい活動も取り入れている	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	・子供の状況に応じて活動内容等を柔軟に変更している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・毎朝、職員朝礼で確認している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・毎日、支援後に話し合いを行い、支援の変更点等の情報を共有している	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・一人一人の記録を残し、職員間で話し合い、スーパーバイザーの助言を受け検証している	
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・細かな評価を行い半年に1度見直しを行っている	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・児童発達支援管理責任者が参加している	今後は担当職員の参加行いたい
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	・行政や保育園等と情報共有を行っている ・必要に応じて家庭訪問を実施している	・他機関と連携した支援までには至っていないので、目指していく
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・対象となる児童が利用をされていないため非該当項目とする	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）			・対象となる児童が利用をされていないため非該当	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携		子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			項目とする	
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	・書面での情報提供と幼稚園等に行き、子供の様子を見学し先生との情報共有は行っている	・更に連携の取れる関係性を構築していく
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	・書類を作成し情報共有は行っている	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4	情報交換のみ行っている	・今後、そのような機会があれば是非参加したい
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		・今後、そのような機会があれば是非参加したい
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		・今後、そのような機会があれば是非参加したい
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・送迎時に1日の様子や保護者からの相談を受けている。必要に応じて別に時間を設けて話し合いも行っている。 ・連絡帳でのやりとりも行っている	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	2	・ご希望される方には、実際に療育現場を見学して頂く等行っている ・家庭訪問	・コロナの影響で今年度は勉強会を実施できていないので、次年度は実施したい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に契約書及び重要事項説明書の内容を説明している	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・個別面談時に同意を得ている	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・③⑩と同じ	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	・昨年度に家族会を創設 ・スーパーバイザーからの助言等も行っている	・③⑪と同じ
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	2	・必要に応じて個別相談に応じている	

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0	5		・ 今後は会報を発行する。年4回程度。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・ 個人情報の入ったファイル等は施錠できる棚を使用し、事務所外に持ち出さないようにしている ・ 個人情報を廃棄する場合がシュレッダーを使用	・ 職員に対して個人情報の取扱いについての研修を行う
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・ 障害のある子どもに対しては、それぞれの子どもに応じたコミュニケーションツールを使用している ・ 保護者に対しては、連絡帳等で行っている	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5	・ 地域行事を行っていないため未実施。 ・ 地域の方に読み聞かせに来て頂いている	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	・ 各マニュアルは策定している ・ 避難訓練を実施しているは保護者への周知はしていない	・ 保護者との避難場所での引き渡し訓練を実施し、より実践的な訓練にしていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	・ 避難訓練を実施している	・ 法人内の他事業所との連携など、より本番に近い訓練を行う予定
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・ 契約時のアセスメントで確認している。 ・ その都度処方箋のコピーと薬剤をお預かりする等、子どもの現状を確認できるようにご家族に協力をして頂いている	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・ アレルギーの物は提供しないようにしている	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・ 些細なことでも報告を行い、事故報告書を作成し、その内容及び今後の対応策について共有している	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・ 虐待防止研修を実施している	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	・ 契約書に記載している。 ・ 身体拘束に該当する事例がないため記載していない	・ 筑紫会虐待防止規程に則った対応を行う

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。